

2002年12月19日

全国17件のオフィス・ビルディング購入の方針を決定 投資総額約300億円を予定

マニライフ生命保険株式会社（代表取締役社長兼 CEO トレバー・マシュウズ）は、資産運用の多様化と国内におけるブランド認知強化を目指して、全国各地におけるオフィス・ビルディング購入の方針を決定しました。

このため、マニライフ生命は、明年2月末迄での購入に関連する諸交渉・手続き正式完了を目標に、全国で17件のオフィス・ビルディングを購入する方針です。この一連のオフィス・ビルディング購入に要する費用総額は、約300億円程度を見込んでいます。

「これらのオフィス・ビルディング購入は、当社のご契約者の皆さまにすぐれた投資効果を還元する機会をご提供するのみならず、日本市場における当社の永続的かつ強固な成功への決意を示すものでもあります」と、マニライフ生命、代表取締役社長兼 CEO のトレバー・マシュウズは語っています。

今回候補とされているオフィス・ビルディング17件の所在地は、関東、近畿、中京地区等の大都市圏から、東北、中国、四国、九州等の地方にまでまたがっています。

マニライフ生命はカナダに本拠を置くマニライフ・ファイナンシャル社のグループ企業で、世界的な格付け会社スタンダード&プアーズ社から、トップクラスの格付けの一つである「AA+」の格付けを取得しています。

マニライフ・ファイナンシャルは、カナダを本拠とし、世界15カ国・地域で事業展開している金融サービスのリーディンググループです。同社職員、エージェント及び販売パートナーの広範囲にわたるネットワークを通じ、お客様に多種多様な保障商品や資産運用サービスをご提供しています。マニライフ・ファイナンシャルの管理運用資産は2002年9月30日現在1,392億カナダドルとなっています。